

2022年12月19日

関係各位

(一社)日本農林規格認証アライアンス
代表理事 丸山豊



2023年手数料改定の件

前略

いつも認証制度へのご協力を賜り、ありがとうございます。

JASCERTでは、申請者様及び認証事業者様へ、合理的、迅速、法遵守への厳格性をこころがけ、また公平な業務を行うよう認証サービスに取り組んでおります。認証手数料及び調査手数料については、認証の業務工数等を毎年見直し、手数料の改定を行っております。

今回見直しの結果、2023年につきましては、下記のと通りの改定を行うこととなりました。値下げと値上げの両方がございますが、趣旨ご理解賜りますよう、宜しくお願い致します。

草々

記

1. 2023年度価格改定の基本的方針

今回の改定は基本料金の変更はなく、下記のとおり、一部の事業者の方に関わる部分のみの見直しを致しました。従いまして、ほとんどの事業者様については前年と同じとなります。

【改定の内容】

- ① 有機農産物の生産行程管理者について、サンプリング調査(注)の場合、値下げ。
- ② 有機加工食品の生産行程管理者について、有機売上高2億円を超える大規模事業者について、売上加算金額を値下げ。
- ③ TRACESの輸出証明書発行について、追加入力手数料を新設。
- ④ ラベル確認の40件超の追加料金を廃止。
- ⑤ 講習会受講料の現行金額を税込みから税別に変更。

(注)有機農産物のグループ認証の事業者のうち、ほ場訪問を抜き取りで訪問する調査方式をとっている事業者が該当します。

2. 適用時期

上記①～④は、2023年1月から

上記⑤は、2023年4月以降開催の講習会から、適用します。

3. 具体的内容

(1) 有機農産物のサンプリング調査について

- 有機農産物のサンプリング調査を適用された事業者の場合、ほ場数加算額 1,000 円 / ほ場のほ場数は、認証ほ場数でなく、その年に訪問したほ場数で加算。
- 一方、面積加算は、サンプリングであっても、認証ほ場全体の面積で加算。

(例) 登録ほ場数が 120 ほ場で、サンプリング訪問したほ場数が 30 ほ場の場合で
これまで 3 日間かかっていた検査が 1 日で終わる場合：

	従来(税別)	改訂後(税別)	値下げ額
ほ場数加算	120×1,000=120,000円	30×1,000=30,000円	△90,000円
検査料	3日間計 86,000円	1日(8時間) 46,000円	△40,000円
		値下げ合計	△130,000円

(2) 有機加工食品の売上加算について

有機売上が 2 億円を超える場合、1 億円を超えるごとに 10,000 円の加算としていたものを、1 億円を超えるごとに 5,000 円の加算とし、かつ 10 億円超は加算なく同額とする変更をします。以下の表をご覧ください。

3 有機売上による加算		
有機売上	金額 (税別)	金額 (税込)
～100万円	35,000	38,500
～500万円	40,000	44,000
～1,000万円	50,000	55,000
～2,000万円	60,000	66,000
～4,000万円	80,000	88,000
～6,000万円	120,000	132,000
～1億円	160,000	176,000
～2億円	220,000	242,000
以降1億円ごとに5,000円(税込5,500円)加算。10億円超は加算なく同額とする。		

(3) 輸出証明書の発行手数料について

① TRACES の追加入力手数料について

2022 年以降、いったん電子署名を済ませた後の B/L・AWB、船名・便名等の追加情報入力依頼が増えております。当方では、発行後の追加情報等の入力のために、1 件の発行作業に加え作業工数が増加します。このため、実際の作業工数を考慮し、2023 年以降 TRACS の料金を以下のとおりと致します。

	金額(税別)
電子署名発行	1,000 円
発行後の追加情報等入力 (1 ログイン修正当り)	300 円

(補足) 発行後の追加情報入力を 1 回行うと、その証明書の合計額は 1,300 円となります。
電子署名になる以前の、紙ベースのレターパック対応の額は 1,300 円でしたので
レターパック対応の事業者様は、前年の額に戻ったということでご理解願います。

② 紙媒体(NOP、UK、台湾)の追加入力手数料について

紙媒体の証明書で、追加情報入力による再発行があった場合は、他の理由による再発行
依頼と同額で 1 通分の扱いとします。

以上